

月刊 動労千葉

動労千葉結成10周年!

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.4.4 No. 3007

(1979年) 4月18日 (水曜日)



▲ 旗を掲げる本部車庫の職員の前を竹ガスを背に引き揚げる



動労千葉結成十周年

記念レセプションに集約

十年前の今頃を振り返ってみると、三月三十日に動労千葉が結成され、四月十一日には、総評青年協集会に参加すべく結成していた動労千葉青年部に動労本部青年部が襲いかかるという、いわゆる錦糸町駅襲撃事件が発生し、四月十七日には、動労本部革マルが学生革マルをも動員して白昼公然と津田沼電車区に武装襲撃をかけ、当時支部長の

片岡一博氏をはじめとする組合役員に重傷を負わせるという「大事件」が発生している。しかし津田沼支部は、片岡支部長が入院するというハンディをのりこえて津田沼襲撃の翌日十八日には、動労千葉の一番目の支部として結成大会を勝ち取った。

千葉の旗のもとに結集させることに成功し、革マルとの「分離・独立」の闘いに勝利宣言を發せるまでの偉大な地平を切り抜いた。

一方動労革マルは、三億円とも四億円とも言われる巨費を投入し、延べ四万人にも及ぶ「オルグ団」を職場に、家庭にさしむけ動労千葉破壊に「全力投球」したわけだけれど、結果として、島田誠ら札付きの革マル分子と土屋一派ら合わせて

も、労働者らしく闘ったが故に誰に対しても胸を張ることができるのである。「虎の威を借りたキツネ(鉄道労連革マル)」がほえ面をかく日もそう遠くはあるまい、「明けぬ夜はない」の格言ではないが、分割・民営化から二年、情勢は労働者にとって夜明けを告げ知らせている。リクルート・消費税で自民党はガタガタ。鉄道労連内部では、旧動労と旧鉄労が分裂含む骨肉の争い。労働界では、今秋総評解散。情勢は完全に激動期・戦国時代に突入している。いよいよ動労千葉が最も得意とする時代が到来した。

89年から始まる新たな十年に向けて旗色も鮮やかに突き進もう。動労千葉は結成十年を記念して、そしてこれから始まる新たな十年の闘いに向けて、盛大に十年記念レセプションを開催する。多くの組合員が結果するよう強く要請します。



一九七九・三・三〇結成大会

記念レセプション

- ★ 1989.4月15日
- ★ 労働者福祉センター

原則を貫き勝利しよう

3/14 本山町争いに決起

三月十四日、全金本山労働組合は、「熊谷裁判勝利、不当解雇撤回、全国総決起集会」を開催した。本山製作所の門前は、争議団の仲間を先頭にあふれかえる。われわれは、全金本山とともに原則的な労働運動を貫徹するために全力で奮闘しよう!



も、労働者らしく闘ったが故に誰に対しても胸を張ることができるのである。「虎の威を借りたキツネ(鉄道労連革マル)」がほえ面をかく日もそう遠くはあるまい、「明けぬ夜はない」の格言ではないが、分割・民営化から二年、情勢は労働者にとって夜明けを告げ知らせている。リクルート・消費税で自民党はガタガタ。鉄道労連内部では、旧動労と旧鉄労が分裂含む骨肉の争い。労働界では、今秋総評解散。情勢は完全に激動期・戦国時代に突入している。いよいよ動労千葉が最も得意とする時代が到来した。

